

日高胆振知的障がい児・者家族会 通信

家族会ニュース



会長 津脇清一郎

日高・胆振知的障がい児・者家族会
会長 津脇清一郎

も感じられた年でもありません。

家族会の各種事業では、九月に札幌のきたえーるに於いて、埼玉大学教育学部の宗澤先生をお招きして、「知的障がい者の意思決定支援について」と題して講演会を開催しています。意思決定について法令上の位置づけや具体的な事案など、様々な視点で解説していただき非常に分かりやすい講演であり、私たち親としても今後活動するうえで得るものが多々あったと感じております。また、道内の各福祉施設事業所に「虐待のない施設運営に係る要望書」を道家族会連合会と連名で、要望書の提出をしております。その要望事項は、一、知的障がいをもつ人が安心して生活できる運営体制の確保。二、人権擁護の視点から、さらなる虐待防止への取り組みの強化。三、職員が働きやすい勤務体

師走の声を聞いて、なにやらあわただしい今日この頃ですが、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から、当家族会の活動に対し、ご理解、ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

さて、今年の世相を表す漢字は「安」が選ばれたようです。「安全」「安泰」「安定」「安心」といっば、日本では安全保障関連法案について審議、与野党が対立し国論が二分するかたちとなり、国民の採決に関する感心も非常に高まりをみせ、デモや集会等もテレビ報道され、恒久的な「平安」について、私も特に考える機会となり「不安」を抱くこと

平成27年度 第2号 (通巻16号)
発行
日高・胆振知的障がい児・者家族会事務局
苫小牧市字植苗一二二番地八
緑星の里やまぶき
印刷発行 2015年12月

時事通信

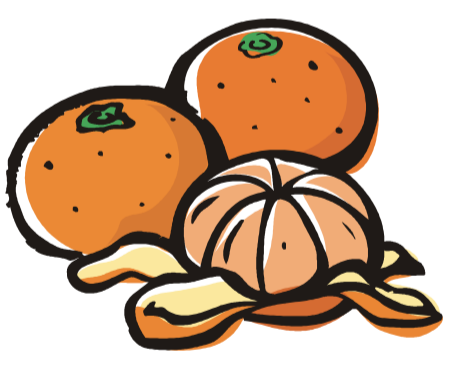
制のもとで、障がい者が充実した時間を過ごすことのできる支援の充実。以上についてお願いをし「安心」出来る住環境で生活することを願っております。

今後も関係者の皆様と、歩調を合わせ活動を充実して参りたいと考えています。当家族会に対し、皆様方これまで以上のご理解とご支援をお願いいたします。

第五回役員会の開催

日時 平成二十八年一月十七日
場所 北ひろしま福祉会
内容
・加入・退会に関する事項
・事業所アンケートの検討
・自治体、福祉協会への対応
・来年度の総会、研修計画等

日高・胆振知的障がい児・者家族会入会のご案内
随時会員募集中



介護サービスの整備計画、6万人分上乗せへ

「介護離職ゼロ」のため優先すべきは介護スタッフの待遇改善
政府は「1億総活躍社会」に向けた「介護離職ゼロ」実現のための具体策として、特別養護老人ホームなどの介護施設を増やすため、首都圏の国有地九十カ所を早ければ年内にも事業者に安く貸し出す方針だという。

2020年代初頭までに、従来の計画より約6万人分上乗せした、約40万人分の在宅サービスや施設サービスを整備するとしている。人材確保策としては、いったん現場を離れた潜在看護師や潜在介護福祉士ら

の再就職を支援するための準備金の貸し付けを行う案などを示している。

障害者総合支援法の見直し
一人暮らしを進め、グループホームは重度者向けに
厚生労働省は障害者総合支援法の見直しに連動し、グループホームから一人暮らしへの移行を目指す人などを対象とした定期的な巡回訪問と随時に対応するサービスの創設を検討。一方、

グループホームは重度の人が暮らしやす場と位置づけ、軽度の人は利用対象から外すことも視野に入れる。知的障害者、精神障害者の重度化・高齢化に対応できるように、サービスを再編するとしている。

編集後記

今年も各家族会の皆さまにご理解とご協力をいただきありがとうございます。来年もよろしくお願いいたします。



師走